

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
芸術	美術 I	1	2	選択必修

到達目標	中学校美術の学習で養われた創造的な表現と、鑑賞の能力をさらに伸ばし、美的直観力、発想力、構成力を育てる。
------	--

### 年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対しての アドバイスなど	備考
1 学期 中間	高校美術、学習内容と評価について 描画材料の特性と使い方について <b>課題 1：アクリルガッシュ実習</b> アクリル絵の具の特性を学び明度表を作る。 <b>課題 2：四季のイメージレタリング</b> 基本のレタリングを使って四季のデザインをしよう。	高校では、使用する道具と材料を全て各自で購入することになっています。	雑巾 2 枚 用意。
1 学期 期末	<b>課題 3：スパッタリング</b> スパッタリングの技法を学び、型紙を使ってできる形の面白さを体験する。 <b>課題 4：拡大模写①</b>	服の汚れ注意。 課題 4 で使う、ハガキ大の「顔の写真」を、早めに探しておきましょう。	
2 学期 中間	<b>課題 4；拡大模写②</b> 人物のハガキ大程度の顔写真を 2 倍程度に拡大し模写する。単色または 2 色に色数を絞って、アクリルガッシュで彩色表現する	面分割にチャレンジ。	
2 学期 期末	<b>課題 5：パッケージデザイン</b> パッケージの構造を考え購買対象者を考えながら、お菓子の形状、パッケージのデザインを練っていく。  ●展覧会鑑賞レポートは 2 学期末までに提出。	普段何気なく手に取っているパッケージもたくさんの工夫がされていることを知ろう。	
学 年 末	<b>課題 7：木版画 浮世絵風自画像</b>	浮世絵の中に自分をはめ込んでみよう。	

評価方法と 評価のポイント	知識・技能・・・各課題の意義や目的を理解し、進めていく技術が身についたか。 思考・判断・表現・・・十分に推敲し、独自の表現方法を工夫しているか。 主体的に学習に取り組む態度・・・自ら進んで課題に取り組んでいるか。
------------------	--

### 教科からのアドバイス

今後の日常生活のあらゆる場面で役立つ内容です。「描く」課題と「作る」課題を、実施します。課題内容は固定ではなく、進捗や状況に応じて変更する場合があります。